

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/10/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イランとイスラエルの対立激化で1ヵ月ぶり高値

NY原油先物相場は、1バレル=66.33ドルまで下落した後、74ドル台まで急反発する展開になった。週前半は需要不安と石油輸出国機構（OPEC）プラスの12月以降の増産計画による需給緩和見通しを織り込み、年初来安値（65.27ドル）に迫る展開になった。しかし、10月入り後は中東の地政学リスクを織り込む動きが強まり、8月30日以来の高値を更新した。

イスラエルはレバノンの武装組織ヒズボラに対する攻勢を強め、10月1日には地上軍の投入に踏み切った。それを受けて、イランはイスラエルに対して4月以来となるミサイル攻撃を行っている。イスラエルは当然に報復を宣言しているが、イラン石油施設を対象とした攻撃が行われる可能性が警戒されると、原油相場は上げ幅を拡大した。4日時点では報復攻撃は行われていないが、高いレベルの先行き不透明感から売りポジションの保有が警戒され、安値から最大9.24ドル高になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月27日時点）は、原油が前389万バレル増、ガソリンが112万バレル増、石油精製品が128万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中東情勢次第で急伸も、イスラエルがイラン石油施設を攻撃か？

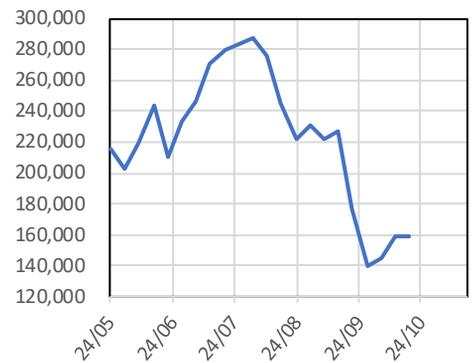
中東情勢の不安定化を受けて、短期上昇リスクが浮上している。イランがイスラエルに対するミサイル攻撃に踏み切ったことを受けて、イスラエルが報復攻撃を行うのは確実な情勢にある。焦点はその報復攻撃が石油関連施設に対するものになるのか、4月と同様に軍事関連施設になるかになる。

仮に石油関連施設が攻撃を受け、イランの原油生産や輸出に実害が生じると、一気に80ドル水準まで吹き上げるリスクを想定しておく必要がある。特に主要輸出拠点のカーク島などに攻撃が行われると、パニック的な買いが膨らむ可能性がある。イランがホルムズ海峡封鎖といった強硬策に打って出る可能性、親イラン組織がサウジアラビアなどに対する攻撃に踏み切るリスクも警戒されている。

一方、4月と同様に軍事施設に対する散発的な攻撃に留まり、イスラエルとイランがともに全面戦争は望んでいないとの見方が強まると、材料出尽くし感から利食い売りが膨らみやすくなる。

現在は石油輸出国機構（OPEC）プラスが大規模な減産を実施中のため、仮にイラン産原油供給の一部が途絶えても、深刻な供給不足に陥る可能性は低い。OPECプラスが12月から計画している減産縮小を前倒しで実施すれば、イラン産原油供給が落ち込んだ場合でも、代替供給が可能な状況にはある。このため、いずれにしても短期的な上昇リスクとの評価になるが、イスラエルとイランがどのような対応を見せるのかは予想が難しく、今週は上下双方にブレ幅が大きい展開になりやすい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

